



編集後記

どうやらすったもんだの米国大統領選の決着がつき、ドナルド・トランプ氏の再選が決まった。

個人的には、その政治家としての素質や力量は別にして、トランプ氏の言動や立ち居振る舞いが苦手である。

「Get out Here (出て行け)」

などという喧嘩腰の台詞が、世界有数の先進国首長の選挙運動の中で、登場すること自体どうかと思うし、それが候補者の口から発せられる時点で「品格」を欠くと思う。いかなる激論であり、口角泡を飛ばし、丁々発止と渡り合う場面であっても、大国のリーダー（あるいはその候補）たる者は、どこに出してもおかしくないような品位は保ってほしいと思うのだ。

ところが米大統領選の終盤では、歴史的ともされる中傷合戦に陥り、双方の陣営が「garbage (ゴミ)」という言葉を巡り、互いを非難しあう異例の展開となるなど、見難い(聞く)に堪えない応酬が展開さ

れた。

あくまでも私見だが、知性と知識のあるオトナであるならば、そのよきなあからさまな言葉遣いをせず、きちんと豊富なボキャブラリーの中から適切な言葉を選び、紳士淑女らしい大人としての所作で相手を論破すればよいだけのことなのだ。

米国だけではない。今や世界中にこうした傾向は見え隠れしているように感じるのは筆者だけではあるまい。

言葉に詰まると手が出るゝなどというが、いま世界で起こっている戦争や紛争の背景にもそうした傾向がありはしないだろうか。

5・15事件で暗殺された犬養毅首相は、頭を撃たれた後も意識があり、「呼んで来い、いまの若いモン、話して聞かせることがある」

と言ったというが、まさに首相と襲撃した海軍将校の間で交わされた「話せばわかる」

「問答無用、撃て、撃て」

というやり取りには、そうした現代の世界が抱える問題との共通点が垣間見える。

子ども時代に見た日本の選挙では、選挙カーが行き会うとお互いに「健闘を祈る」発言が行われる場面に何回か遭遇したことがある。内心は別にして、建前としてそうあるべきなのが、大人の振る舞いなのではないだろうか。

有権者は、候補者が政治家として何を成し遂げようとするのかを聞きたいのであって、双方の誹謗中傷争いなどではない。

昨今のテレビなどを拝見していても、アナウンサーが取材先で「〜に教えてもらいました」や「〜に話を聞いてみました」という発言を平然とするのを耳にする。「教えていただく」「話を伺う」という用法は影を潜め、これではテレビを視聴する子どもたちに正しい日本語は浸透していかない。

そう言えば、我が国の首相の食事マナーも話題になった。茶碗に指を突っ込み、両手で箸を一本ずつ持ち、肘を突いたまま食べる図が世に流布し、大いに顰蹙を買ったのはご承知のとおりである。

自分自身への諫めも含めて、世の大人たちは、常に子供たちの手本となる言動や振る舞いを心掛けなければいけないと思う。

は、選挙カーが行き会うとお互いに

「健闘を祈る」発言が行われる場面に何回か遭遇したことがある。内心

は別にして、建前としてそうあるべきなのが、大人の振る舞いなのではないだろうか。

有権者は、候補者が政治家として何を成し遂げようとするのかを聞きたいのであって、双方の誹謗中傷争いなどではない。

昨今のテレビなどを拝見していても、アナウンサーが取材先で「〜に教えてもらいました」や「〜に話を聞いてみました」という発言を平然とするのを耳にする。「教えていただく」「話を伺う」という用法は影を潜め、これではテレビを視聴する子どもたちに正しい日本語は浸透していかない。

そう言えば、我が国の首相の食事マナーも話題になった。茶碗に指を突っ込み、両手で箸を一本ずつ持ち、肘を突いたまま食べる図が世に流布し、大いに顰蹙を買ったのはご承知のとおりである。

自分自身への諫めも含めて、世の大人たちは、常に子供たちの手本となる言動や振る舞いを心掛けなければいけないと思う。

(溪)

月刊 公論

12月号 第57巻12号

令和6年12月1日発行 毎月20日発売
本体価格1,100円(税込) 送料87円

発行人 大 中 吉 一 編集人 林 溪 清
発行所 株式会社財界通信社
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町10-12 ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611(代) FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社広済堂ネクスト
取次店 日本出版販売/楽天ブックスネットワーク

- 直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
- 万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。